



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2022年8月9日

上場会社名 株式会社宇野澤組鐵工所 上場取引所 東
 コード番号 6396 URL <https://www.unozawa.co.jp>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 樋口 勉
 問合せ先責任者(役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 高木 貴温 (TEL) 03-3759-4191
 四半期報告書提出予定日 2022年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	1,064	6.0	117	69.4	132	82.2	87	67.6
2022年3月期第1四半期	1,003	△13.4	69	△47.7	72	△48.1	52	△51.2
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2023年3月期第1四半期	79.61		—					
2022年3月期第1四半期	47.49		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	7,480	2,275	30.4
2022年3月期	7,368	2,207	30.0

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 2,275百万円 2022年3月期 2,207百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	0.00	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,300	7.1	150	25.4	150	21.2	100	10.1	90.54
通期	4,500	2.7	280	9.3	280	4.0	200	22.9	181.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご参照ください。

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2023年3月期1Q	1,120,000株	2022年3月期	1,120,000株
2023年3月期1Q	15,487株	2022年3月期	15,487株
2023年3月期1Q	1,104,513株	2022年3月期1Q	1,104,513株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は添付資料2ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(会計方針の変更)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症にかかる行動制限が緩和され、経済社会活動の正常化が進む一方、ウクライナ情勢の長期化、急速な円安に伴う資源・エネルギー価格の上昇、半導体等部品供給の不足等、依然として不透明な状況で推移しております。

このような環境のなか、当第1四半期累計期間の業績は、売上高1,064百万円（前年同四半期比6.0%増）、損益面におきましては、営業利益117百万円（前年同四半期比69.4%増）、経常利益132百万円（前年同四半期比82.2%増）、四半期純利益87百万円（前年同四半期比67.6%増）となりました。

セグメント別の概況は以下のとおりです。

① 製造事業

送風機・圧縮機の売上は減少したものの、真空ポンプ、部品及び修理の売上は増加し、売上高は903百万円（前年同四半期比8.0%増）となり、損益面におきましては、セグメント損失7百万円（前年同四半期はセグメント損失65百万円）と、前年同四半期比増収増益になりました。

売上高を製品別に示しますと、真空ポンプは482百万円（前年同四半期比9.8%増）、送風機・圧縮機は99百万円（前年同四半期比32.5%減）、部品は192百万円（前年同四半期比41.6%増）、修理は130百万円（前年同四半期比13.1%増）の結果となりました。

また、輸出関係におきましては、売上高は77百万円（前年同四半期比111.8%増）となりました。

② 不動産事業

売上高160百万円（前年同四半期比3.8%減）、セグメント利益124百万円（前年同四半期比7.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間の財政状態は、前事業年度末と比べ、総資産は112百万円増加し7,480百万円、負債は44百万円増加し5,204百万円、純資産は67百万円増加し2,275百万円となりました。

総資産の増加は、現金及び預金が362百万円減少したものの、棚卸資産が208百万円、有形固定資産のその他に含まれる機械及び装置が192百万円増加したこと等が主な要因です。

負債の増加は、長期借入金が197百万円減少したものの、流動負債のその他に含まれる未払金が166百万円増加したことや流動負債のその他に含まれる前受金が93百万円増加したこと等が主な要因です。

純資産の増加は、利益剰余金が54百万円増加したこと等が主な要因です。

この結果、自己資本比率は30.4%（前事業年度末は30.0%）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

ウクライナ情勢の長期化に伴う資源・エネルギー価格の上昇、インフレ懸念等世界経済の不確実性による設備投資の停滞等、当社を取り巻く環境は引き続き厳しい状況で推移するとみられます。そのような環境のなか、生産性の改善を図り利益の確保に努めてまいります。

なお、2022年5月13日発表の通期業績予想に変更はありません。業績予想を見直す必要が生じた場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,555,292	2,192,916
受取手形及び売掛金	1,007,902	1,073,391
電子記録債権	501,092	511,241
棚卸資産	803,342	1,011,898
その他	29,956	25,540
貸倒引当金	△605	△634
流動資産合計	4,896,981	4,814,354
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,268,225	1,253,172
土地	631,643	631,643
その他(純額)	154,651	349,722
有形固定資産合計	2,054,520	2,234,538
無形固定資産	50,445	46,946
投資その他の資産		
投資有価証券	300,773	319,511
その他	67,851	67,986
貸倒引当金	△2,491	△2,781
投資その他の資産合計	366,132	384,715
固定資産合計	2,471,098	2,666,201
資産合計	7,368,080	7,480,555
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	345,303	385,985
電子記録債務	530,510	570,986
1年内返済予定の長期借入金	916,565	870,660
未払法人税等	79,137	28,172
賞与引当金	63,890	21,244
製品保証引当金	7,506	7,506
その他	264,837	568,670
流動負債合計	2,207,750	2,453,225
固定負債		
長期借入金	1,654,959	1,457,710
繰延税金負債	30,974	57,786
退職給付引当金	553,976	533,993
役員退職慰労引当金	139,217	134,650
長期預り保証金	554,034	549,684
その他	19,223	17,762
固定負債合計	2,952,385	2,751,586
負債合計	5,160,135	5,204,811

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2022年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	785,000	785,000
資本剰余金	303,931	303,931
利益剰余金	989,322	1,044,115
自己株式	△29,992	△29,992
株主資本合計	2,048,261	2,103,054
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	159,683	172,688
評価・換算差額等合計	159,683	172,688
純資産合計	2,207,945	2,275,743
負債純資産合計	7,368,080	7,480,555

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	1,003,312	1,064,003
売上原価	782,121	795,331
売上総利益	221,191	268,671
販売費及び一般管理費	152,025	151,537
営業利益	69,165	117,134
営業外収益		
受取利息	41	19
受取配当金	3,983	4,811
違約金収入	—	4,959
受取賃貸料	2,172	2,172
為替差益	—	4,188
その他	2,820	3,755
営業外収益合計	9,017	19,906
営業外費用		
支払利息	5,083	4,634
その他	488	138
営業外費用合計	5,572	4,773
経常利益	72,611	132,267
特別利益		
固定資産売却益	199	—
特別利益合計	199	—
特別損失		
固定資産除却損	0	—
特別損失合計	0	—
税引前四半期純利益	72,811	132,267
法人税、住民税及び事業税	2,683	23,261
法人税等調整額	17,670	21,077
法人税等合計	20,354	44,339
四半期純利益	52,456	87,928

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期財務諸表に与える影響はありません。